

【熊本日日新聞「熊日プレジデント倶楽部」に当社社長が掲載されました】

2012年1月5日
ヒノマル株式会社

< 掲載記事 >

2012年1月1日付 熊本日日新聞 新年号第5部 「熊日プレジデント倶楽部」 17面(下記は同記事より抜粋)

—今年、創立65周年を迎えられるそうですね。
板東 昭和22年9月6日(肥料・農薬の販売を主目的に株式会社日之丸商會として発足しました。設立当初から一貫して地域に密着した事業に取り組み、現在は積水化学グループの一社としてアクリ事業部、管材・住資事業部、建設事業部、成羽岳事業部の4事業部となる総合商社となりました。2月には創立65周年を記念して、全国各地の支店、工場から全社員が集まり、祝賀パーティーを行う予定です。
—昨年の業績はいかがでしたか。
板東 口蹄疫や新燃岳噴火の影響で農業分野の需要低迷、さらに東日本大震災によるスーパーの出荷調整など厳しい状況ではありましたが、全社員が一



代表取締役社長 板東 敏夫氏

丸となり、頑張って乗り切ってくれました。その結果、平成22年度の売り上げは約289億円、前期比0.9%の減収になりましたが、経常利益は7億9800万円となり、7期連続で増益、かつ16年ぶりに最高益を更新しました。

新戦略で「際立つ、高収益」の実現

—業績好調の要因は。
板東 やはり社員の頑張りで。私は8年前の社長就任以来、売上志向から利益重視の企業体質に転換させる方針を打ち出し、自ら徹底して意識改革、社員教育に力を入れてきました。それまで利益

に対する社員の意識に少し甘いところがありました。現在、業績が好調なのは、社員一人一人が「自分の城は自分で守る」という強い信念のもと、利益を出すという責任感と危機感を持って仕事をしている結果です。何より大切なことは顧客満足(CS)を徹底的に追求することです。常に顧客視点で提案営業を行い、とにかく、お客さまの安定的、継続的な売上・利益増に貢献することだと思います。
—今年の目標をお聞かせください。
板東 23年度も非常に好調です。8期連続増益を

達成するのは間違いありません。経常利益10億円以上を目指さそう、23年度を最終とする中期経営計画(GH10 Vision)も実現できそうです。業績は順調に伸びていますが、課題もあります。それは、減益だった管材・住資事業部の強化、アクリ事業部の新規事業開発、減収が続く売り上げの増収、この3つです。今年には、まずこれら3つの課題をクリアすること。さらに社員教育に力を入れ、働きがいのある職場・制度づくりに取り組んでいきます。そして、来年度からは、新中期経営計画「GH20 Vision」の基本戦略に基づき成長と改革を進め、「際立つ、高収益なプレミアムカンパニー」の実現を目指します。今年も率先垂範いたします。



熊本本社

| 会社概要 | |
|-------|--|
| ◇所在地 | 〒862-8660 熊本市九品寺5丁目7-29 ☎096(372)4747 |
| ◇創立 | 昭和22年2月 |
| ◇事業内容 | 商事部門：肥料・植薬・園芸・産業資材、管材・住資、土木資材、食品包装資材の販売 製造部門：プラスチック軽量食品容器の製造・販売 工事部門：交通安全施設、法面保護、景観施設、園芸施設等の工事 |
| ◇資本金 | 6億7,250万円 |
| ◇役員 | 代表取締役社長/板東敏夫 専務取締役/牧野修二 常務取締役/河野昭博 |
| ◇従業員数 | 305人 |
| ◇事業所 | 本社/熊本、福岡 支店・営業所 福岡支店ほか15 工場/鳥栖、守山、関東 |
| ◇グループ | 積水化学グループ |
| ◇関連会社 | タイハク紙、第一製管機、ほか3社 |